

御無沙汰しておりますが、お元気にお過ごしでしょうか。

今年度のインフルエンザは、全国的には A 香港型から始まり その後タミフル耐性を獲得した A ソ連型が蔓延し B 型が混在している状況のようですが、そろそろ終息に向かいそうです。榛南 吉田地区では、ほとんどが A 香港型だったようで、タミフルはインフルエンザ感染初期(48 時間以内)の一般的治療となり、1 週間寝込む病気が 1~2 日で治癒出来るようになり、この地区では著効を示す症例がほとんどだったようです。医学の進歩が医療現場を大きく変えました。感謝すべきだと思います。

また、今年花粉の量は少し多いようで、暖冬によりかなり早い時期から花粉が飛んでおり、重度の花粉症である私も予防投与を 2 月上旬からはじめました。鼻へのステロイド局所治療は一日一回の製剤 ナゾネックスが著効を示し、今のところわずかな症状ですんでおり助かっております。

とは言うものの、スキーシーズン真っ盛り、チャオ御岳スノーリゾートは 200cm の積雪。私は 2/22 下手糞なボードで左足首を捻挫し 2 時間掛けて雪山を下山、全治 3 週間の身です。

ほんの半年前、北京オリンピック当時までは、日本を代表する製造業が大量解雇の実施を余儀なく迫られるとは予想していなかった。凄まじく速い社会の変化、医療界も医師不足そして都市への偏在、地方の医療は破壊寸前です。ここ数年で状況は急激に悪化しました。特に地方の自治体病院は、診療科の縮小・閉鎖、数カ月後には自治体からの資金の工面が打ち切られた時点で病院閉鎖という最悪の状況が目前となりました。

また、「特定健康診査・保健指導」が始まりましたが、保健指導が実質的な患者さんの生活の質を変えるのはほど遠い状況です。

医療に何を求めどこにいくのでしょうか？ 我々に今出来る事は？ 考え込んでしまいます。自分の力で救えない事・人・動きがある。過去を振り返り、もっとあの時 力があれば今が変えられたのではないかと思え、後悔がある。そして今 その選択をしたら、数カ月後、数年後、3 年後、5 年後「こうなってしまうぞ」という現実がある。外からの評価がどうあれ、今この時、正しい選択を自分が 家族が 加藤内科医院が 職員と周囲の人間、そして医師会が 行政が すること。人に強要することは出来ないから、まずは自分から発信して行こうと思う。

J リーグ ジュビロ磐田、3/7 モンテディオ山形(ヤマスタジアム 16:00)を迎え開幕です。3/14 ガンバ大阪(万博 16:00)、3/21 浦和レッズ(エスパ 14:00)と、優勝を争うチームとの対戦が続きます。初戦は泥臭くとも勝ち点 3 が必要です。昨年の苦い経験を挺に奮闘を期待しております。

康寿診報 137 号が出来上がりました。136 号と共に送らせて頂きます。 敬具

平成 21 年 2 月 26 日 加藤寿夫

ホームページが新しくなりました。<http://www.katoiin.jp> ぜひご覧ください。

漢方による「花粉治療」積極的におこなっております。来院にて本院の資料を参照してください。